MICRO ACEの新製品
鉄道模型マイクロエース

平成　　年　　月
株式会社　マイクロエース
製品の仕様・価格・発売時期は予告なく変更する事がありますので、予めご了承願います。

A0568	183系1500番台/189系・特急色 特急「しおさい」8両セット	予価:23,200円(税別) JANコード:105801 ｶｰﾄﾝ内入数:12
A0569	183系0番台/1500番台・あずさ新塗装 特急「かいじ」9両セット	予価:24,800円(税別) JANコード:105818 ｶｰﾄﾝ内入数:12

A0569

商品形態	Nゲージ塗装済完成品　(素材:ABS樹脂製　対象年齢:8歳以上　ブックケース入り)
実車	【A0568】 上野と長野を結ぶ信越本線の特急「あさま」は181系で運転されていましたが、横川-軽井沢間は8両編成に制限されていたために、輸送力のネックになっていました。この対策として、183系1000番台を元に引き通し線の追加など横軽協調用装備を付加して、1975年に登場したのが189系です。183系1000番台との外見の違いはほとんどありません。特急「あさま」を中心に使われていましたが、長野新幹線開業により1997年9月30日で撤退、現在は各地に転属して特急「しおさい」「あやめ」などの183系と混用されているほか、信越線の「妙高号」に使用されています。 幕張電車区に所属するマリ7編成は、先頭車がATCを搭載した183系1500番台、中間車が189系グレードアップ車から構成されています。編成中のクハ183-1527はクハ183-1528と共に正面飾り帯が低い位置にある珍しい車両です。 【A0569】 183系は1972年の総武本線東京地下開業・外房・内房線電化用に伴い、東京地下駅から房総半島への特急用として製造されました。1974年、上越線の181系が雪害で故障が多発した際に0番台を基本に耐寒耐雪構造を強化した1000番台が投入されました。正面は非貫通となり、機器配置が大きく見直されパンタグラフがモハ183からモハ182に移されたのが特徴です。1985年以降、増発・短編成化によって先頭車の不足に伴い、485系などからの改造車が加わりました。現在、老朽化や後継車両の登場によって淘汰が進んでいます。 当セットは、先頭車がATCを搭載した1500番台、中間車が0番台から構成され、フォギーグレーを基調に太帯はアドバンスブルー、細帯はリフレッシュグリーンに塗装変更された1993～1994年頃の松本運転所M18編成です。編成中のクハ183-1528はクハ183-1527と共に正面飾り帯が低い位置にある珍しい車両です。
商品概要	・マイクロエース特急電車シリーズの更なる充実。 ・2003年暮に発売した183系・189系の更なるバリエーション。 ・号車札,ATS・ATS-P表記,JRマーク,エンド表記,ロゴなどを印刷済み。 ・足下が引き締まる黒染め車輪を採用。 ・ヘッドライト,テールライト点灯(ON-OFFスイッチ付き)。 ・実車に則して、AU13クーラーはメッシュタイプ・スリットタイプを使い分け。
A0568	・大窓車,小窓車の混成編成。 ・特急色の内、大窓車に合わせて赤帯の幅が広くなっているタイプを製品化。 ・クハ183-1527は、飾り帯高さが低い変形車を再現。 ・モハ188-46の屋根上には増設された電話アンテナを取り付け。 ・モハ188は全車パンタグラフ1基仕様。 ・実車に則して中間車モハ189,モハ188は全車赤色ナンバー,先頭車クハ183は銀色ナンバーです。 ・初期型モハ188-13はクーラー,ランボードが異なります。 ・二種類のブレーキユニットを作り分け。 ・編成 ←銚子　　東京→ ◇ ◇ ◇ クハ183-1527 / モハ189-13 / モハ188-13 / モハ189-46 / モハ188-46 / モハ189-48 / ,モハ188-48 / クハ183-1526 ←ライト　モーター　ライト→ JR東日本商品化申請中
A0569	・全車小窓車で構成された編成。 ・クハ183-1528は、飾り帯高さが低い変形車を再現。 ・183系0番台用の屋根,床下を新規製作。 ・モハ183は全車共パンタグラフ2基仕様。 ・サロ183の屋根上には電話アンテナを取り付け。 ・編成 ←松本・甲府　　新宿→ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ クハ183-1525 / モハ183-2 / モハ182-2 / サロ183-19 / モハ183-1 / モハ182-1 / モハ183-11 / モハ182-11 / クハ183-1528 ←ライト　モーター　ライト→ JR東日本商品化申請中
付属品	愛称幕・行先ステッカー1枚